



第 4 週

発想の原点は
共に生きること

高齢者をめぐる社会的な課題について考える上では、どのような対策を講じるかの前に、高齢者を家庭や社会の一員として尊重し、温かい心のつながりを築いていく姿勢が必要ではないでしょうか。

そのためには、一人ひとりに目と心をしっかり向け、「共に生きること」を発想の原点とすることが大切でしょう。それは高齢者だけでなく、あらゆる立場や境遇の人との関わりについてもいえることではないでしょうか。

一人ひとりの多様な個性を認め、相手を尊重する気持ちを言動に表したとき、その温もりはきっと相手の心に響きます。また、それは周囲にも波及して、より良い社会を築く原動力となっていくことでしょう。



MEMO メモ

第 3 週

「和の心」で
まとめたい

宇宙飛行士の若田光一^{わかた こういち}さんは、平成 25 年からの国際宇宙ステーション (ISS) 長期滞在中、後半の 2 カ月はアジア人初の船長として、各国から派遣された搭乗員の指揮を執りました。その計画が発表されたとき、若田さんのコメントが紹介されました。

「日本の国際貢献に対する信頼感があるからこそ、船長を任せられたと思う。ISS では日本人の和の心を大切にし、チームをまとめていきたい」(参考=『産経新聞』平成 23 年 2 月 17 日付夕刊)

私たちの仕事もさまざまな立場の人々の協力があって成り立つものです。その中でお互いの個性や意見を尊重し、建設的に物事を運ぶところに「和の心」の真価が発揮されるのではないのでしょうか。



MEMO メモ

第 2 週

人を尊重する心

私たちは、さまざまな人との関わりの中で生きています。その中で、自分と考え方の合う人とは理解し合い尊重し合おうとしますが、そうでない人に対しては、理解しようと努力する前に自分の方から心を閉ざして、関係を断ち切ってしまうこともあるのではないのでしょうか。

人と関わりを持つ際にまず大切なことは、相手を尊重して接することです。もちろん、お互いに対する理解を深めるまでには、長い時間と粘り強い努力が必要になることもあります。時にはそのためにも苦悩することもあるでしょう。しかし、自分以外の誰かを恨んだところで問題解決には至りません。まずは自分から、相手を尊重して心を開く努力をしたいものです。



MEMO メモ

第 1 週

話し上手は
聞き上手

昔から「話し上手は聞き上手」と言われます。初めから終わりまで自分のことを一方的に話し続ければ、相手はうんざりしてしまうでしょう。そういう人は話し上手とはいえません。会話の中では、時には聞き役に回ることも大切です。

聞き役に回するには、相手に温かい関心を持つ必要があります。相手がどういう人で、どのように考えているのかなど、心からの関心を持ち、相手の個性や長所を認めて接すれば、相手は心を開いて、こちらの話にもよく耳を傾けてくれるようになるでしょう。そのとき、心が通い合い、相手の気持ちを察することもできるようになるのではないのでしょうか。

聞き上手になるように心がけて、人を尊重する心を養いたいものです。



MEMO メモ

季節の植物 山吹(ヤマブキ)

Illustration by Kyoko Kishi